



課金ギャップを解消するためのベアラー変更要求の強化

- [機能の概要と変更履歴](#) (1 ページ)
- [機能説明](#) (2 ページ)
- [機能の仕組み](#) (2 ページ)
- [default-bearer-rule-removal](#) の保留の有効化 (3 ページ)

機能の概要と変更履歴

要約データ

該当製品または機能エリア	P-GW
該当プラットフォーム	• ASR 5500 • VPC-DI • VPC-SI
機能のデフォルト	無効：設定が必要
このリリースでの関連する変更点	N/A
関連資料	• <i>Command Line Interface Reference</i> • <i>P-GW Administration Guide</i>

マニュアルの変更履歴

改訂の詳細	リリース
このリリースでは、P-GW は課金の不一致を回避するためのルール削除遅延ポリシーをサポートしています。	21.22

機能説明

デフォルトベアラの Quality of Service クラスインデックス (QCI) の変更を含む **charging-rule-install** および **charging-rule-remove** 属性値ペア (AVP) を持つ再承認要求 (RAR) を P-GW で受信すると、P-GW は古いダイナミック課金ルールを削除し、ベアラ更新要求をトリガーします。ベアラ更新要求を受信した場合にのみ、新しいルールが適用されます。これにより、デフォルトのベアラに関連付けられているポリシーがない期間の課金に矛盾が生じます。

StarOS 21.22 以降のリリースでは、課金の矛盾を回避するために、上記のケースでは、ベアラ更新要求が受信されるまで、ルールの削除が延期されます。この新しいルール削除遅延ポリシーは、QoS パラメータ (QCI、GBR、MBR、または ARP) が変更され、**charging-rule-install** および **charging-rule-remove** の上記の条件が満たされたデフォルトベアラにのみ適用されます。

機能の仕組み

課金ルール削除ポリシーは、RAR を受信した直後ではなく、ベアラ更新応答の受信後に適用されます。この変更は CLI 設定によってサポートされており、次の機能が発生します。

1. RAR またはクレジット制御応答更新は、Rule1 のルール削除、デフォルトのベアラ QCI 更新、および Rule2 のルールインストールとともに P-GW によって受信されます。
2. ACS マネージャは、次のことを確認します。
 - 遅延ルール削除ポリシーをチェックします。
 - デフォルトベアラの QoS 変更とデフォルトベアラのルール削除があるかどうかをチェックします。
 - ベアラ更新要求応答を受信した後、保存されているポリシーを削除します。
3. ベアラ更新要求に対して正しい QCI、MBR、および GBR 値が送信されているかどうかを確認します。また、正しいデフォルトベアラ QoS がベアラに反映されているかどうかを確認します。
4. ベアラ更新応答が受信されない場合は、次の操作を実行します。
 - 遅延ルールの削除をキャンセルする場合は、タイムアウト処理を実行します。
 - 復元された正しいベアラ QoS を検証します。

default-bearer-rule-removal の保留の有効化

デフォルトのベアラールール削除ポリシーを有効または無効にするには、次の設定コマンドを使用します。

```
configure
  active-charging service service_name
    [no] policy-controldefer default-bearer-rule-removal
  end
```

注：

- **active-charging service**：課金アクションは、ルール定義が一致したときに実行するアクションを定義します。
- **no**：動的ルール削除の保留を無効にします。
- **defer default-bearer-rule-removal**：ベアラ更新応答またはタイムアウトまで、デフォルトのベアラからのルールの削除を延期します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。